

安保破棄ニュース

NO. 576 2025・5・15

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町9-6 2階
TEL 06-6763-3833 FAX 06-6763-3836
HP <http://www.anpo-osk.jp>
E-mail anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp

大阪安保・2025年度「幹事会」（総会）

「安保の真実」を伝え

アメリカ言いなりの政治を変えよう



安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会の2025年度「幹事会」（総会）を、4月25日に新日本婦人の会大阪府本部の会議室をお借りして開催しました。

「幹事会」（総会）には、14団体26名が参加し、下記を基調とする今年度の運動方針を採択、会則の修正を行い、新年度の役員体制を確立したことを報告します。名護平和委員会の上野郁子さんと八尾平和委員会の佐藤啓二さんから連帯のメッセージが寄せられました。



はじめに

戦後・被爆80年、そして「戦争法」成立から10年の今年、「戦争国家づくり」を止め、日本被団協のノーベル平和賞受賞を力にして、戦争も核兵器もない、武力によらない平和な世界に向けて、軍拡によって日本が戦争に巻き込まれる危険が高まっていることを、実感をもって明らかにするとともに、生活の苦難を押し付けられている国民の要求と結んだ運動が強く求められています。

日米安保条約・日米地位協定、そして日米同盟を絶対視して進められている自民党・自公政権による「アメリカ言いなり」の政治をただすため、全国で繰り広げられている運動に連帯することが、安保破棄実行委員会に求められる第一義的役割です。

大阪実行委員会として求められる役割

大阪においては、維新政治の下、吉村知事による「自衛官募集等の推進について（通知）」（202

2年2月）以降、自治体から自衛隊への名簿提供が一気に増えました。

同時に、海遊館などを訪れる市民や観光客でにぎわう天保山ふ頭では、「専守防衛」を踏み越えて空母化された大型自衛艦「かが」を寄港させて一般公開し、自治体の祭りや防災訓練などに自衛隊を参加させたり、中学校や高校での教育活動にも入り込んで自衛隊への体験入隊をさせるなど、自衛隊を市民のくらしの中に違和感なく潜り込ませようとする動きが強められています。

とりわけ、米軍基地のない大阪においては、「安保3文書」以降、「戦争国家づくり」が進められる中で、石破首相が「日本の安全保障と外交の基軸」と言う、日米同盟の下、自衛隊が米軍とともに戦争するために、大きく変貌しているという事実とともに、日米安保条約が市民のくらしとどう関わり、影響を与えているかを、分かりやすく伝えることが求められ、その大元である日米安保条約の廃棄を求めて活動する、私たち安保破棄大阪実行委員会の役割が問われています。

加えて、大阪実行委員会には、これまでの経緯を通して求められる役割として、沖縄における名護市長選挙や県知事選挙などでの、現地に大阪を中心とする各地からの支援者を迎えるための拠点を設け、現地の方々と共に組織的な選挙を行うという役割があります。

日本国憲法と日米安保条約の相反する本質によって生じる大きな矛盾を、我がこととして捉え、行動することができる大阪実行委員会とするため、会自身の組織的自力を高め、平和を願い運動する諸団体との共闘を深めて活動することに努めます。

そして今、国会においては、少数与党という新たな情勢の下で大きな変化が起こり、物価高騰に苦しむ国民の切実な怒りの声に押されて、自民党内からも消費税減税を求める声が上がっています。

また、世界各国から批判の声が高まるトランプ政権に対する、不甲斐ない石破政権の姿を見た

国民の「アメリカ言いなりでいいのか！？」という思いが表れてか、新聞各紙の世論調査では、読売でも、憲法を「変えない方がよい」という回答が「変える方がよい」を上回っています。

さらにまた、朝日の核兵器禁止条約についての調査では、「加盟する方がよい」（73%）、核兵器保有国の核保有について、どんな理由があっても核兵器を「なくすべきだ」（68%）という回答が、「加盟しない方がよい」（22%）、「持っている国があっても仕方ない」（28%）を大きく上回っています。

アメリカの核・「抑止力」から脱却して、武力によってではなく、お互いの「主権」を尊重し、対話と協調に基づく徹底した外交の力によって平和を築く、日本国憲法が示す当たり前の日本を取り戻すために、まさに今こそ、私たち安保破棄実行委員会には、「安保の真実」を分かりやすく伝えるために力を発揮することが求められているのではないのでしょうか。

発言

「幹事会」（総会）では、その期待に応える発言が5人の方から行われました。

■平和遺族会の大島 守さん

日本国憲法において、日本は二度と戦争はしないと誓った。そのことを次世代に語り継いでいきたい。

沖縄の平和行進に参加し、現地で学んできたことを本土に伝え、沖縄と本土が一体となって、米軍基地をなくし、平和な日本を造っていくためにがんばります。

■母親連絡会の岸上紀代子さん

畑田先生が「諸悪の根源」と言われたが、日米安保条約の問題点がなかなか国民の中に浸透していない。国民の皆さんに分かってもらうようにがんばりたい。

■うたごえ協議会の立川孝信さん

うたごえ運動には、「ぞうれっしゃがやってきた」など、市民を巻き込んで広がっていったという歴

史がある。中国との関係では、南京大虐殺に係わる「紫金草」という花にまつわる話を通して、民間レベルでの日中友好が広がっているが、日本国内ではまだまだなので、皆さんと一緒にがんばりたい。

■大教組の中川 勉さん

平和、憲法、安保のこととかを学校でしゃべると、攻撃される雰囲気はあるが、事実「こうだ」と伝えることが大事だと思う。

教育研究集会などで、参加と共同の学校づくりということで、地域・保護者や他の団体、平和運動とも一緒にがんばっていききたい。

■新日本婦人の会の秋元真由美さん

沖縄では、またしても米兵による性犯罪が発生した。国連にも働きかけ、国連女性差別撤廃委員会で、沖縄での米兵犯罪問題が取り上げられ、日本政府への勧告を含む最終所見が発表されたが、その根底には、日米地位協定・日米安保条約があるので、大きな問題として、告発していくこと

団体・地域
の取り組み

大阪民医連

大阪民医連での社保平和委員会の取り組み

大阪民主医療機関連合会では社保平和に関する様々な取り組みを行っています。

毎週、火曜日には昼宣伝を堺筋本町駅前で行く人に軍拡反対運動署名宣伝行動を行っています。

また、平和に関する行事として3月にはビキニデー。5月・11月3日の輝け憲法集会には大阪民医連事務局員含め、病院・診療所から多数の方が参加され、武器・軍拡は必要ない、平和の大切さをみんなで訴えていこうと声を上げ集会に参加し声を上げています。6月から7月にかけて炎天下の中ですが、核兵器廃絶・我々の平和を訴え行進する平和行進が行われ核兵器をなくせ、武器・兵器は必要ないと訴えました。

8月には毎年広島・長崎で交互に行われている原水爆禁止世界大会に多くの職員を募って参加しています。私たちの平和を訴えるために、世界に核兵器を二度と生み出さないよう、取り組みを進めています。

このほかにも、職員の中で社会保障についての取り組みをより知っていただくため「社保ピースセミナー」という企画があります。第一に平和を広げ、社保って何だろう。地域とのつながりにはどういうものがあるのだろう。と集団で考えて行い、学び気づきを深める企画を6月から11月に月1回企画を行い、横のつながり、縦のつながりを一緒に作りながら、様々な角度から社会保障活動を学んでいく企画を行っています。



大阪民主医療機関連合会
社保平和協同組織担当 村井督大

が大事だと思う。

学校の中にも、地域にも、自衛隊の介入が行われ、子供たちがターゲットとされているということを見逃してはいけない。名簿提供の問題もあるが、学校の職業体験になんで自衛隊が入っているのか？しかも、保護者にも知らされていない。選択肢の中に入れていること自体許されない。

今後、皆さんと共にがんばっていきたい。

「幹事会」(総会)の前半には、林竜二郎さん(安保中央事務局次長・日本共産党基地対策委員会副責任者)にお越しいただき、「戦争準備へ変貌する米軍・自衛隊のいま」というテーマでお話いただきました。



中身については詳しくご紹介することができませんので、ぜひ、ブックレット②⑥「戦争準備へ変貌する米軍・自衛隊基地」をお買い求めください。

頒価 500円 送料実費

お話では、先ず日米安保条約の下、日米関係がいかに従属的かという点に触れられ、「アメリカ言いなり、トランプ追随でいいのか！」と厳しく問われました。紙面の都合で、お話の



435th

23宣伝行動（上六）

4月23日（水）12:30から、上六交差点で行いました。参加は4団体と個人の6名と少し少なかったですが、ビラは100枚余り配布することができました。

大教組の中川さんと大阪労連の永井さんが各々、唯一物価高を上回る、教育予算などと比べても突出する軍事予算増の異常さについてスピーチし、長時間労働を野放しなど多くの問題を含んだまま改正されようとしている「給特法」や、介護など国の基準で報酬が決まる分野に対する、国の責任を追及。「軍事費を削って、〇〇に回せ！」の声を上げていこうと訴えました



大教組・中川さん

近畿安保オンライン学習会

「だいじょうぶ? 防衛費、いったい何に使うの?」

申込締切
5月30日
(金)

●日時／6月5日（木）18:30～20:30

●講師／林 竜二郎 氏

（安保中央事務局次長・日本共産党基地対策委員会副責任者）

★ZOOMを使用したオンライン学習会です。

★大阪安保へメールでお申し込みください。

anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp

★お申し込みの際には、お名前・連絡のつく電話番号の記載をお願いします。

★申し込み受付後、ミーティングID、パスワードをご連絡します。

「日本は西太平洋で最前線に立つ」と、ついに本当のことを言われてしまった日米同盟。自衛隊が米軍の指揮下に組み込まれようとしていることは、もう隠しようがありません。そんな時に、防衛予算だけが異常に突出する25年度予算が成立。いったい、何にどれだけ使おうとしているのか？日本は「安保の真実」を見てみましょう



《当面の日程》

5月

15日（木）平和委員会の沖縄連帯行動に参加

12:00～ 上本町六丁目交差点

21日（水）大阪安保常任幹事会 10:00～

23日（金）23定例宣伝行動 12:30

天神橋筋商店街・ダイコクドラッグ

JR天満・地下鉄「扇町」（大阪労連担当）

6月

5日（木）近畿安保オンライン学習会 18:30

○日（ ）機関紙印刷発行作業&事務局会議

10:00～ 大阪安保事務所

18日（水）大阪安保常任幹事会 10:00～

大阪安保 4階会議室

23日（月）「節目の日」行動としての宣伝

6. 23「節目の日」の宣伝行動です。詳細が決まり次第お知らせします。ご予約ください。

7月

○日（ ）機関紙印刷発行作業&事務局会議

10:00～ 大阪安保事務所

16日（水）大阪安保常任幹事会 10:00～

大阪安保 4階会議室

23日（水）大阪安保23定例宣伝行動 12:30

24日（木）近畿安保合同会議 13:30～

大阪安保事務所

8月

23日（土）～24日（日）

近畿安保・自衛隊基地視察行動（舞鶴）

